

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は	修理ご相談センターへ
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

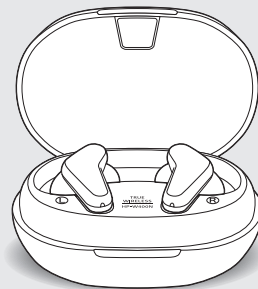
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

取扱説明書

完全ワイヤレスイヤホン

型番：HP-W400N



このたびは、AudioComm® 完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

免責事項	1
充電式電池について	2
安全上のご注意	2~5
Bluetoothについて	6~8
各部の名称	9
マルチファンクションボタンの操作方法	9
充電のしかた	10~11
電源のオン/オフについて	12~13
イヤチップの交換方法	13
イヤホンの装着方法	13
ペアリング(初期登録)のしかた	14~15
音楽を聴くときの操作	16
携帯電話着信時の操作	17
イヤホンに流れる音声案内とインジケータの点灯・点滅動作	18
イヤホンの初期化	19
お手入れのしかた	19
故障かなと思ったら	20~21
主な仕様	22
保証書とアフターサービスについて	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池：イヤホン及び充電ケースに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 危険



接触禁止

充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない

- 本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠ 警告



22cm以上
離す

心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す

- 電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



接触禁止

雷が鳴り始めたら、安全のためイヤホン、充電ケース及び充電コードに触れない

- 感電するおそれがあります。



使用禁止

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する

- そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。



分解禁止

分解、修理、改造しない

- 火災・感電の原因となります。



禁止

航空機内や医療機器の近くで使わない

- 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

⚠ 警告



禁止

自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない

- 高温になると、危険を防止するため充電式電池(リチウムポリマー電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

イヤホンや充電ケース、充電コードの上に重いものをのせない

- 破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。

充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

- コードが破損して火災・感電の原因となります。

付属の充電コード以外では充電しない

- 火災や感電、機器の故障の原因となります。

運転中は本製品及び携帯電話を使用しない。運転中に携帯電話の画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本製品を使わない

- 必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようご注意ください。

火の中に入れない

- 本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されており、誤って火中に入ると、発熱、破裂、発火の原因になります。

充電ケースを他の製品に使用しない。また、充電ケースにイヤホン以外のものを入れない

- 火災・感電の原因となったり、ショートして故障するおそれがあります。

⚠ 注意



保管場所に注意

小さなお子様の手の届かないところに保管する

- 誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。



音量は小さく

長時間、大音量で聴き続けない

- 聴力障害などの原因となることがあります。

⚠ 注意



水かけ禁止

浴室、台所など湿気が多い場所や水飛沫のある場所では使わない
●感電や故障の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で操作しない
●故障や感電の原因となることがあります。



禁止

暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない
●破損・故障の原因となります。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
●落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

充電コードを熱器具に近づけない
●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

ズボンなどの後ろポケットに本製品を入れたり、かばんの中に入れてそのままにしない
●気づかずに椅子などに座ったり、かばんに力が加わるなどして、変形や破損、故障の原因となることがあります。

イヤホン及び充電ケースに、キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない
●内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない
●変形・変色の原因となります。

自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない
●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグ部を持って抜いてください。

日本国以外では使用しない
●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離(最大約10m)であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本製品は以下のバージョン及びプロファイルに対応しており、ご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本製品の性能・機能が制限される場合があります。

※本製品はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.0

【対応プロファイル】

- ・HFP(ハンズフリーで通話/携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- ・A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
- ・AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)
- ・TWS(2つのBluetooth対応スピーカーを接続してステレオ再生を行なうためのプロファイル)

セキュリティについて

本製品はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

Bluetoothについて(つづき)

使用周波数と注意事項

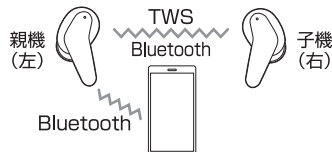
本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

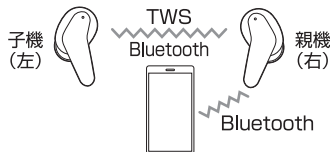
TWS(True Wireless Stereo)とロールスワップ機能について

TWSは2つのイヤホンをBluetoothによりペアリングすることで、ステレオサウンドを実現する機能です。また、本機はロールスワップ機能を搭載しており、音源となる機器とペアリングした後は、左右いずれかのイヤホンを単独で充電ケースから取り出した場合でも、追加のペアリング操作なしで使うことができます。

左イヤホンから先に取り出した場合



右イヤホンから先に取り出した場合



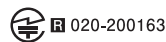
※親機と子機は、充電ケースから取り出した順番で入れ替わります(先に取り出したほうが親機となります)。

※左右のイヤホンを単独で使う場合は、そのイヤホンに割り当てられた操作しかできません。また、一部の機器では、正常に接続できない場合もあります。

本製品の機器認定について

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為、本製品に貼ってある定格銘板を消したりはかしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

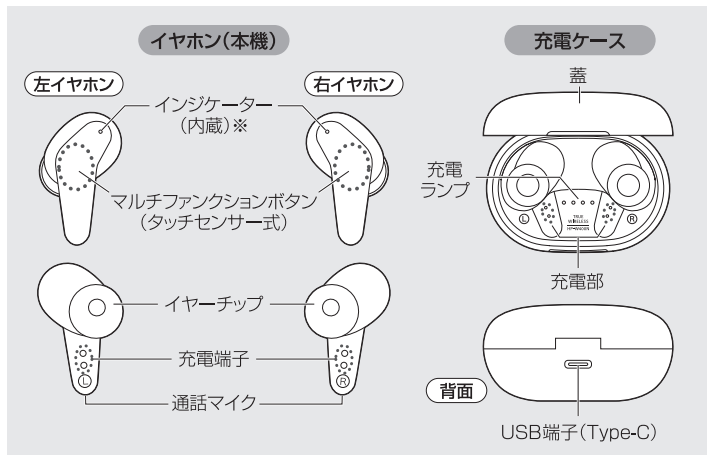
本製品は日本国内でのみ使用できます。



医療機器近くで使用の際は、特に注意してください

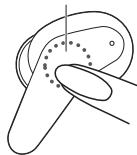
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患患視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本製品を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離して、携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本製品をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります。ご使用の際は十分にご注意ください。

各部の名称



マルチファンクションボタンの操作方法

タッチエリア



- 本機のマルチファンクションボタンはタッチセンサー式となっており、指先でタッチエリアに軽く触れる(タップする)だけで、再生/一時停止、スキップ、着信応答などの操作ができます。
- 操作方法は、ダブルタップなどを操作の基本としており、不意に触れてしまったときの意図しない動作を防ぐことができます(1回触れただけでは動作しません)。タップのしかたにより機能が異なりますので、本書の各説明をよくお読みのうえ操作してください。

ダブルタップ…2回続けてタップする

トリプルタップ…3回続けてタップする

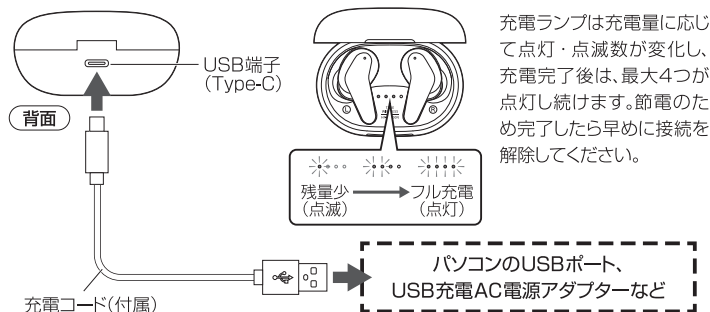
ロングタップ…タッチエリアに触れ続ける

充電のしかた

はじめてお使いになるときは、充電ケース、イヤホンともに十分に充電してください。

充電ケースを充電するときは

充電ケースのUSB端子(Type-C)とパソコンなどのUSB端子を、付属の充電コードで接続してください。充電が始まると、充電ランプ(白)が充電量に応じて点灯・点滅します。



重要

付属の充電コードは本機専用です。他のUSBコードを本機の充電に使わないでください。また付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。機器やデータの故障、破損につながる場合があります。

ヒントとご注意

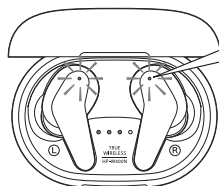
- パソコンで充電するには、電源供給ができるUSBポートに直接接続してください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。また、充電中にパソコンが省電力モードやスリープモードになると正しく充電されません。
- 家庭用コンセントで充電する場合は、USB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。



充電のしかた(つづき)

イヤホンを充電するときは

- 充電ケースにイヤホンをセットすると、自動で充電が始まります。
- 充電中はイヤホンのインジケータ(赤)が点灯し、完了するとインジケータ(白)が約1分間点灯した後、消灯します。



インジケータ

充電中：赤・点灯
完了時：約1分間、白・点灯後に、消灯

充電ケースがフル充電の場合、2回分のイヤホン充電が可能です。

- ※ 充電ケースが十分に充電されていないときは、イヤホンの充電が不安定になることがあります。
- ※ 充電ケース自体を充電中の場合、イヤホンも同時に充電されます。

ヒントとご注意

- 十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、内蔵されている充電式電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度：0℃~40℃、湿度：20~80% 結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していてもイヤホンのインジケータが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社お客様相談室にご連絡ください。
- Bluetooth接続中にイヤホンの電池残量が少なくなると、インジケータ(赤)が約10秒ごとに1回点滅し、「バッテリー ロー」の音声が間隔を置いて流れるようになります。その後しばらくすると電源が切れますので早めに充電してください。
- 長期間使わなかったときは、イヤホンや充電ケースの電池持続時間が短くなる場合があります。この場合は何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン/オフについて

電源の入れかたとイヤホンどうしのTWS接続(オートペアリング)

充電ケースからイヤホンを2つとも取り出すと、自動で電源が入り、双方がTWS接続されます。



- 双方のイヤホンから「パワーオン」の音声が流れた後、イヤホンどうしの接続動作(TWS接続)が始まり、完了すると「レフトチャンネル(左イヤホン)」、「ライトチャンネル(右イヤホン)」の音声が流れます。その後、「ペアリング」の音声が流れて外部機器とのペアリングモードになります。
 - 左右いずれかのイヤホンを単独で取り出したときも、自動で電源が入り、外部機器とのペアリングモードになります(右/左を示す音は流れません)。
 - 操作・動作時の音声案内やインジケータの点灯・点滅動作については、「イヤホンに流れる音声案内とインジケータの点灯・点滅動作」(P.18)をご参照ください。
- ※ 本機は仕様上、手動による電源オンはできませんのでご注意ください。

はじめて使うときは、Bluetooth機器(相手側機器)とのペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」(P.14~15)を参照して操作してください。

- ペアリングを一度行なうと、ペアリング済みの機器が近くにあり、その機器のBluetooth機能が有効なときは、自動接続します。ただし、接続する機器の仕様により自動接続しない場合があります。そのときは機器付属の取扱説明書に従い、接続してください。

電源を切るときは

- 使用后、充電ケースにイヤホンを戻すと、自動で電源が切れます。充電ケースに電池残量がある場合は、イヤホンの充電が始まります。
- 手動で電源を切るときは、外部機器とのBluetooth接続を解除したうえで、マルチファンクションボタンを約6秒間タップしてください。Bluetooth接続中は、手動で電源を切ることはできません。

電源のオン/オフについて(つづき)

ヒントとご注意

●自動電源オフ機能について

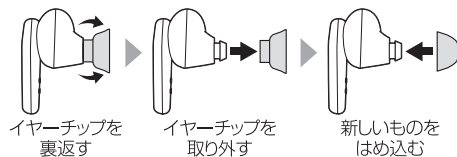
ペアリングやBluetooth接続が完了していない状態が約3分間続くと、節電のためイヤホンの電源は自動的に切れます。

●本機は手動で電源を入れることはできません。自動電源オフ機能が働いたり、手動で電源を切った後は、いったん充電ケースに戻し、再度取り出すことで電源を入れることができます。

●充電ケースの電池残量がゼロのときは、充電ケースからイヤホンを取り出しても自動で電源が入らないことがあります。イヤホンを充電ケースに戻し、充電ケースを含めて十分に充電してください。

イヤーチップの交換方法

本製品には3種類(S、M、L)のイヤーチップが付属しています。フィットするサイズを選んでご使用ください(工場出荷時はMサイズが装着されています)。



イヤホンの装着方法

イヤーチップ部を耳穴に入れ、イヤホン自体を回しながら耳ひだの中に軽く押し込み、安定する位置に装着してください。

耳ひだの中に軽く押し込む



ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器:スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

ヒントとご注意

●必ずイヤホンを2つとも取り出して、ペアリングを行なってください。1つだけでペアリングすると、ロールスワップ機能が正常に動作しないことがあります。

●相手側機器が他の機器とBluetooth接続しているときは、本機とのペアリングができないことがあります。事前に必ず他機との接続を解除してください。

●ペアリングが完了すると、次回以降はイヤホンを充電ケースから取り出すだけで電源が入り、相手側機器と自動接続します。

※接続する機器によっては自動接続しない場合があります。そのときは、機器付属の取扱説明書なども参照し、その都度手動で接続してください。

●ご使用中に接続がうまく行かなかったり、正常に動作しなくなったときは:

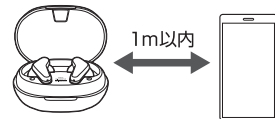
・イヤホンを充電ケースに戻し、しばらくしてからもう一度取り出してみてください。

・相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。

・上記を試しても正常に戻らない場合は、「イヤホンの初期化」(P.19)を参照して本機を初期化した後、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。

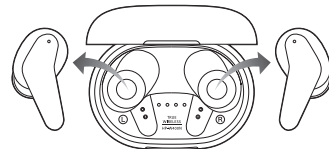
1 本機と相手側機器を手元に用意します。

●相手側機器は電源が入っている状態にしてください。



2 充電ケースからイヤホンを2つとも取り出します。

●自動で電源が入った後、しばらくすると「ペアリング」の音声が流れて、ペアリングモード(接続可能な相手側機器を探している状態)になります。



ペアリング(初期登録)のしかた (つづき)

3 Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone : [設定] → [Bluetooth]

Android : [設定] → [その他の設定] → [Bluetooth]
[設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth 設定]

NTT docomo : [アプリ] → [設定] → [Bluetooth]

SoftBank : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth]

au : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth 設定]

Windows Mobile : [設定] → [接続] → [Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「HP-W400N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

ペアリングが完了すると…

「コネクティッド」の音声流れます。相手側機器で再生などの操作を行ってください。一部の機器では、マルチファンクションボタンを2回連続してタップすることで再生を始められるものもあります。

音楽を聴くときの操作

マルチファンクションボタンにより、以下の操作が可能です。



左イヤホン



右イヤホン

ダブルタップ

再生 ⇄ 一時停止

ロングタップ
(2秒間)

曲の先頭に戻って再生。
直後にもう一度
ロングタップすると
1つ前の曲に戻って再生

次の曲を再生

トリプルタップ

音声アシストを起動

ご注意

- 本機では音量調節はできません。相手側機器で操作してください。
- 左右いずれかのイヤホンを単独で使用している場合は、そのイヤホンに割り当てられた機能しか使えません。
- 接続するBluetooth機器や使用するアプリケーションにより、機能しなかったり、動作が異なる場合があります。
- Bluetooth接続中は、再生をしていない状態でも自動で電源は切れず、電池を消耗します。使い終わった後は、必ず手で電源を切るか、充電ケースに戻してください。
- 音声アシスタントは、接続中の相手側機器(携帯電話)の機種により、音楽再生中は起動しないなど、動作が異なる場合があります。また、機種によっては、タップ操作をしなくても、呼び出しキーワードにより起動できる場合があります。

携帯電話着信時の操作

マルチファンクションボタンにより、以下の操作が可能です。



左右どちらのイヤホンでも操作できます。

着信中にダブルタップ	電話に出る
通話中にダブルタップ	通話を切る
着信中にロングタップ	着信を拒否する

ご注意

- 携帯電話の設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていると、着信があってもイヤホンから着信音がならないことがあります。
- 一部の携帯電話では、Bluetooth使用に際して切替操作が必要なものがあります。携帯電話に付属する取扱説明書でご確認ください。
- マイク部が衣服やマフラーなどで塞がれていると、通話に支障をきたすおそれがありますので、ご注意ください。

イヤホンに流れる音声案内とインジケータの点灯・点滅動作

イヤホンに流れる音声案内

操作や動作に応じて以下の音声の流れます。

操作・動作	音声案内
電源オン	パワーオン
TWS接続完了	レフトチャンネル(左)、ライトチャンネル(右)
ペアリング開始	ペアリング
ペアリング完了	コネクティッド
接続解除	ディスコネクティッド
電池残量少	バッテリー・ロー
手動電源オフ	パワーオフ

※一部の音声は片方のイヤホンのみ聞こえるものもあります。

インジケータの点灯・点滅動作

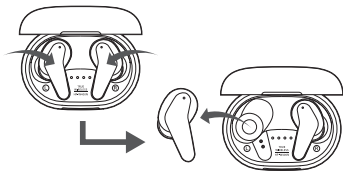
操作や動作に応じて以下のように点灯・点滅します。

操作・動作	インジケータ
充電中	赤(点灯)
充電完了	白が約1分点灯した後、消灯
電源オン	白(点滅)
ペアリング開始	親機または単独使用時：赤・白(交互点滅) 子機：白(約5秒ごとに1回点滅)
ペアリング完了	白(約5秒ごとに1回点滅)
音楽再生中	白(約10秒ごとに1回点滅)
通話中	白(約5秒ごとに1回点滅)
電池残量少	赤(約10秒ごとに1回点滅)
電源オフ	消灯

イヤホンの初期化

本書に記した相手側機器でのプロファイル削除やペアリングのやり直しなどを行なっても、イヤホンの調子が改善されないときは、工場出荷の状態に戻すことができます。以下の手順で初期化を行なってください。初期化後はあらためてペアリングなどを行ってください。

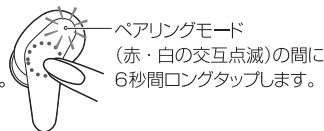
1 イヤホンが出ているときは、2つとも充電ケースに戻します。



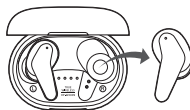
2 片方のイヤホンを取り出します。



3 ペアリングモードの状態で、マルチファンクションボタンを約6秒間ロングタップし、電源を切ります。電源を切ったら、充電ケースに戻します。



4 もう片方のイヤホンを充電ケースから取り出し、同様の手順で電源を切り、充電ケースに戻します。



5 充電ケースから同時に2つのイヤホンを取り出し、ペアリングモードになったら初期化完了です。
●接続したい相手側機器と改めてペアリングしてください。

お手入れのしかた

本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

故障かなと思ったら

症状	チェック事項
充電ケースの充電ができない	<ul style="list-style-type: none">・充電コードは正しく接続されていますか。・パソコンに接続している場合、電源供給ができるUSBポートに接続していますか。USB/ハブなどを介さず、直接接続していますか。パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。・付属品ではない充電コードを使用していないか。
イヤホンの充電が始まらない	<ul style="list-style-type: none">・充電ケースの電池残量が不足していませんか。・充電ケースの充電部やイヤホンの充電端子が汚れていたり、ゴミなどが挟まっていますか。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・イヤホン自体の電池残量が減っていませんか。・電池残量のない充電ケースから取り出していませんか(充電ケースの電池残量がない場合、イヤホンを取り出しても自動で電源が入らないことがあります)。
TWS接続ができない	<ul style="list-style-type: none">・イヤホンはどちらも十分に充電されていますか(片方のイヤホンだけ電池残量不足になっていませんか)。・2つのイヤホン間が離れすぎていませんか。
ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none">・相手側機器の電源は入っていますか。・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。・相手側機器が他の機器と通信していませんか。・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・正しくBluetooth接続されていますか。・相手側機器側で再生などの操作を行ないましたか。・相手側機器の音量が最小になっていませんか。・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

故障かなと思ったら(つづき)

症状	チェック事項
2回目以降使用時に、Bluetooth接続ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。 ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。 ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。 ・相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。
マルチファンクションボタンが片方しか機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ・イヤホンどうしや相手側機器との距離が離れすぎていませんか。できるだけ近づけて操作してください。 ・片方のイヤホンの電池残量が少なくなっていないですか。 ・Bluetooth接続した直後の場合、マルチファンクションボタンの反応が遅くなることがあります。しばらく時間をおいてから操作してみてください。
ノイズやエコー音がしたり、音が途切れがちになる	<ul style="list-style-type: none"> ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。 ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。
携帯電話に着信があっても、本機が応答しない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機との接続が解除されていませんか。 ・携帯電話の設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。 ・一部の携帯電話では、Bluetooth使用に際して切替操作が必要なものがあります。携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

主な仕様

■電源	DC5V(USB給電：USB Type-C端子)
■内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池 3.7V (イヤホン：40mAh 充電ケース：300mAh)
■通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
■対応プロファイル	HFP、A2DP、AVRCP、TWS
■対応コーデック	SBC
■変調方式/周波数帯域	FHSS / 2.402~2.480GHz
■最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
■再生周波数帯域	20Hz~20kHz(A2DP)
■マイク指向特性/感度	無指向性 / -42dB
■充電時間	イヤホン…約1.5時間 充電ケース…約1.5時間 (ともに残量ゼロからフル充電まで)
■再生・通話可能時間	約4時間(50%音量)
■待受可能時間	最大約40時間
■許容動作温度/湿度	温度…0~40℃ 湿度…20~80%(結露なしにて)
■外形寸法	イヤホン…幅32×高さ18×奥行22.5mm
	充電ケース…幅62.6×高さ31.3×奥行44mm
■質量	イヤホン…約4.5g(1個あたり) 充電ケース…約31g
■付属品	充電ケース、イヤーチップ(S・M・L Mは本体に装着済み)、専用充電コード、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、再生・通話可能時間、待受可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。※本書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。